

インドネシア：政策金利を0.25%引き下げ、6.00%に 約3年半ぶりの利下げで経済成長を下支え

インドネシア中央銀行（BI）は9月18日、2日間の金融政策決定会合を終え、政策金利を0.25%引き下げ6.00%にすることを決定しました。利下げは2021年2月以来、約3年半ぶりとなります。BIは会合後の声明で、今回の利下げはインフレ懸念の後退予想、通貨ルピアの安定化の見通し、経済成長の下支えの必要性などに沿った上での決定である、と説明しました。BIの動向、市場の反応および今後の見通しについてご説明します。

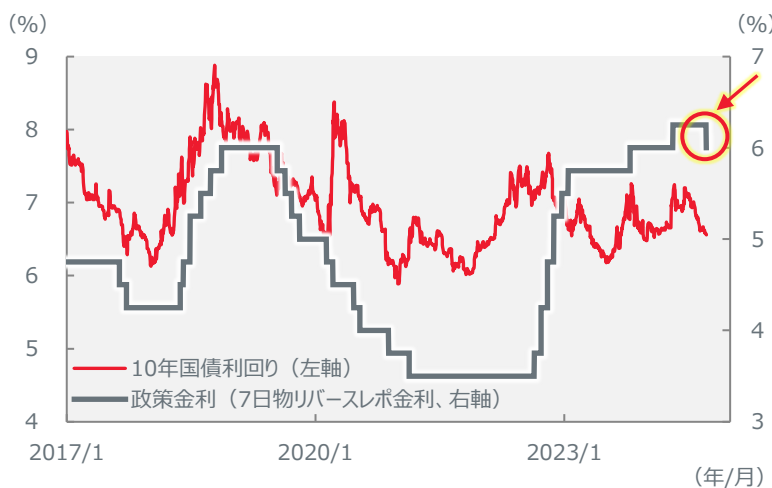
2021年2月以来、約3年半ぶりの利下げを決定

- BIは9月18日、2日間の金融政策決定会合を終え、政策金利である7日物リバースレポ金利を0.25%引き下げて6.00%としました。利下げは2021年2月以来、約3年半ぶりとなります。大方の市場参加者は政策金利の据え置きを予想していたため今回の利下げは予想外となりました。
- インドネシアでは、インフレ率は低水準で推移し昨年半ば以降はBIの目標レンジ内で推移しています。通貨ルピアは米ドル安やBIの利上げなどを背景に直近は堅調に推移し（対米ドル）安定しています。しかし経済成長はこれまで良好に推移してきたものの直近の経済指標で一部“減速の兆し”がみられていました。BIは今回の利下げは“経済成長の下支えの必要性”に沿ったものであると説明しました。

市場の反応と今後の見通し

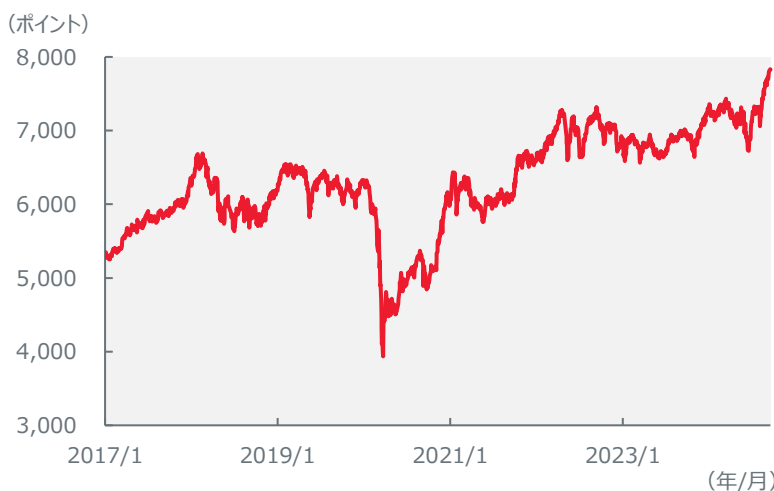
- 今回の利下げは市場の予想外ではありましたが、発表当日の18日の株式市場は小幅下落（ジャカルタ総合指数は前日比-0.03%）、為替は対米ドル、対円ともに上昇しました（前日比でそれぞれ0.03%、0.68%）。債券市場は長期国債の利回りは低下（価格は上昇）しました（10年国債利回りは前日比-1.2bps（-0.012%））。
- BIの利下げ発表は、米連邦準備制度理事会（FRB）に先んじる結果となりましたが、これは通貨ルピアの安定（直近約3か月間でルピアは対米ドルで約7%上昇）によって先んじて利下げに踏み込む余地が生じたことが背景にあります。経済指標は良好ですが、直近の製造業PMIと消費者信頼感指数は“減速の兆し”を一部で示しています。今後についてはBIが経済成長が5%前後かそれ以上にとどまるよう予防的金利緩和を検討する可能性がある、と当社は考えています。マクロ経済状況が引き続き良好であれば、BIは今後6か月で政策金利をさらに0.75～1%引き下げ5%前後の水準にまで持ち込む可能性があります。これはルピアの安定が前提です。
- BIの利下げ発表後、米FRBは利下げに踏み切りましたが（米国時間18日）、アジア市場への資本流入には依然として不確実性が残されています。また米国の大統領選挙の結果が新たなリスク要因となっており、今後の市場動向には注意が必要です。

【政策金利と債券利回り】 政策金利とインドネシア10年国債利回りの推移
(2017年1月2日～2024年9月18日、日次)



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

【株式】 ジャカルタ総合指数の推移
(2017年1月3日～2024年9月18日、日次)



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。

＜当資料に関してご留意いただきたい事項＞ ○当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。○当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。○当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。○当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。○当資料では、個別企業や業種・テーマに言及することがありますが、当該企業の株式や業種・テーマについて組入の保証や売買の推奨をするものではありません。○当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商） 第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

240919 (05)

(1/1)